

NOTO IKIMONO MEISTER



～能登の里山里海を教育フィールドに～

人々と「いきもの」の繋がりがつくり上げてきた、歴史であり文化である「能登の里山里海」は、日本の財産でもあります。金沢大学は能登の里山里海を新しい形で活用する方向性を模索してきました。

「いきものマイスター養成講座」では、能登の里山里海を教育のためのフィールドとして最大限活用し、次世代の担い手や子供たちに能登の里山里海の素晴らしさを伝える技能を習得する講座を開きます。いきものマイスターは、能登に持続可能な社会を築く案内人でもあるのです。



ACCESS



能登学舎へのアクセス

- JR金沢駅より特急バスで約3時間
[能登空港経由]
- 能登空港より車で約50分
- 金沢駅より車で約2時間30分

金沢大学 能登学舎

奥能登珠洲市の先端に位置する旧小泊小学校の校舎を、金沢大学が2006年に珠洲市から無償で借り受けました。里山里海保全に取り組む能登半島・里山里海自然学校や能登里山マイスター養成プログラム、大気観測スーパーサイトなど地域貢献と研究、教育施設として活用されています。



連絡先: 金沢大学能登学舎

〒927-1462 石川県珠洲市三崎町小泊33-7

電話・FAX 0768-88-2528 (担当: 赤石大輔)

メール akaishid@staff.kanazawa-u.ac.jp



日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

NOTO IKIMONO MEISTER

能登いきものマイスター養成講座

里山里海のいきものと人々の繋がりを伝える

能登の里山里海は、伝統文化と生物多様性を支える地域の財産です。「能登いきものマイスター」は、能登の里山里海を深く理解し、地域の次世代へ伝える人材です。本事業ではそうした人材を養成します。



〈能登いきものマイスター〉養成講座概要

○ いきものマイスター養成講座の目的

金沢大学は2006年から「能登半島・里山里海自然学校」、2007年からは「能登里山マイスター」養成プログラムを実施し、里山里海の生物多様性保全や環境に配慮した農林漁業の人材を養成するプログラムを開発してきました。2008年には「NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海」を設立し、地域に根ざした環境教育の実践と、持続可能な地域産業の創出を目指しています。これまで培ってきた環境教育プログラムを結集して、里山や里海の生業(なりわい)と自然のかかわりを教える「能登いきものマイスター」を養成します。いきものマイスターは学校の環境教育や企業の研修などで能登をフィールドに活躍します。

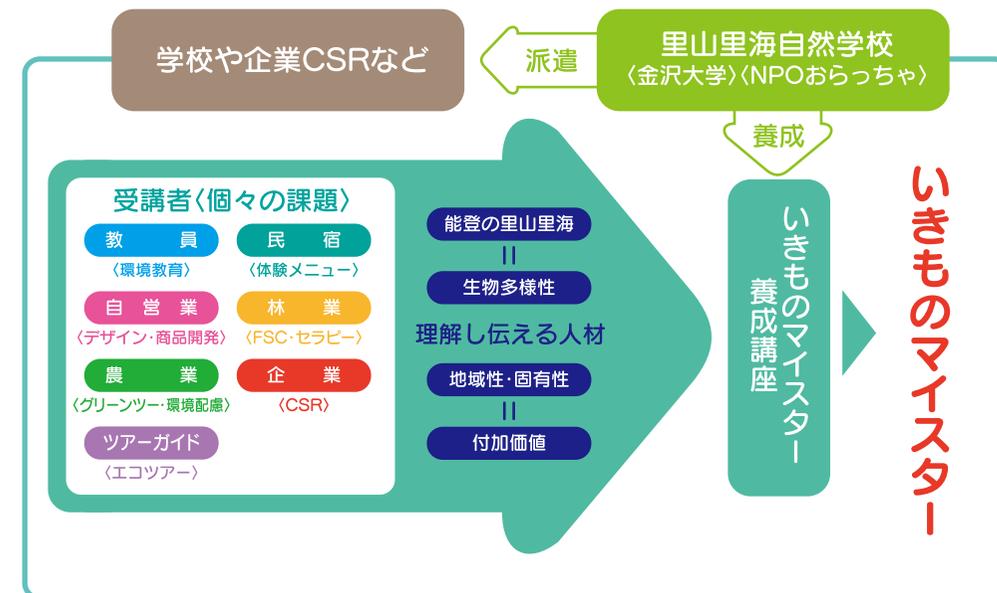
○ 能登のフィールドを活用した実践研修

1 里山里海の保全と生物多様性の大切さを伝える人材を養成するカリキュラムを編成します。

2 能登学会と独自に設ける保全エリアを、「里山里海学習フィールド」として整備します。

3 里山里海の環境教育のため、子どもから大人までを対象にした分かりやすい教本を作成し活用します。

○ いきものマイスター養成講座イメージ図



いきものマイスターの受講者は、地域の農林漁業、民宿やエコツアーのガイド、学校の教職員など、教育と環境に対する意識の高い人々を募り、1年間受講してもらいます。実習や視察を通じて、里山里海の大切さを次世代に伝える技能の習得を目指します。

いきものマイスターカリキュラム

- 講習期間：1年間。月1回程度、20講義。
- 全国から優れた講師を招聘。
- 地域の先達に学ぶ生きた実習。
- 先進地に学ぶ視察研修(旅費支給)
- 修了課題は教育プログラムの構築。

受講資格 石川県在住で、環境教育に関心のある方。
 年齢制限 なし
 受講料 無料

一年間継続して受講できる方を募集します。

講師 **日鷹 一雅** (愛媛大学農学部 准教授)
 〈講義内容〉
 暮らしの中の生物多様性。農生態学と里の知恵の融合について。

講師 **鈴木 克徳** (金沢大学 FSO・教授)
 〈講義内容〉
 能登地域におけるESDと持続可能な社会について。

講師 **中村 浩二** (金沢大学教授、プロジェクト代表)
 〈講義内容〉
 生物多様性と里山里海の保全、そして地域の再生について。

その他多彩な講師による講義・実習を準備。

いきものマイスターの講義

テーマ	講義内容	キーワード
里山	森林管理・動植物調査	キノコ・バイオマス
里海	持続的な漁業・磯遊び	タコすかし・定置網
里地	水田環境評価・ピオトープ	田んぼ・ゲンゴロウ